

DRUG

INFORMATION

2005 No. 17

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線7083）

平成17年9月7日発行

目 次

支持体にアルミニウムを含有する経皮吸収製剤の使用時の注意

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。

<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。

di8931@cc.gifu-u.ac.jp

支持体にアルミニウムを含有する経皮吸収製剤の使用時の注意

狭心症治療剤「**ニトロダームTTS**」および禁煙補助剤「**ニコチネルTTS**」は、共に支持体にアルミニウムを含有する経皮吸収製剤です。以前より、ニトロダームTTSの使用時の注意として、①電気的除細動（DC細動除去等）、②ジアテルミー（高周波療法）、を施行する際には、製剤の破裂や温度上昇による火傷等を避けるため、前もって本剤を除去することとされていました。今回、海外で、③MRI（核磁気共鳴画像法）施行時において、類葉（ニトログリセリン真皮浸透絆創膏）を装着したまま検査を受けた患者の皮膚に**第2度熱傷**がみられたとの報告があり、同様の報告がニコチンパッチ剤でもありました。MRI検査の実施時には検査の妨げにならないように金属類をはずすよう注意喚起されておりますが、これらの支持体にアルミニウムを含有する経皮吸収製剤についても除去してから検査を実施するようお願い致します。

ニトロダーム TTS	ニコチネル TTS
	

なお、他の経皮吸収製剤（フランドルテープ S、ホクナリンテープ、デュロテップパッチ等）については、上記のような報告はありません。